

## バス車内等での転倒防止のための「おもいやりマーク」の活用について

乗合バスの車内での転倒事故により、多くの高齢者が重傷を負っています。

- ・平成21年の乗合バスの車内事故による重傷者数：93名
- ・そのうち65歳以上の方が占める割合：82.8%
- ・転倒して重傷を負った高齢者の多くは、手足が不自由になったり、寝たきりの生活になったりしています。

このため、国土交通省の「自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会」では、高齢者等の着席を必要としている人に、周囲が席をゆずりやすくする「おもいやりマーク」をつくりました。席を必要とする人がこのマークを身につけることにより、バス車内等での席のゆずり合いを促し、転倒事故を防止する一助となることを願います。



「おもいやりマーク」

「おもいやりマーク」は、国土交通省のホームページからダウンロードする等により、個人、自治体、民間団体、バス事業者、鉄道事業者等の方々が自由に使用できますので、積極的にご活用下さい。

「おもいやりマーク」及び調査報告書は、下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anken/03analysis/examination.html>